

JAあそだより

令和3年10月



JA阿蘇正職員募集中!



■今号16ページ 主な内容

- ●阿蘇コシヒカリ出発式/女性部料理コンテスト
- ●産山購買店舗が産山村アグリセンターにオープン
- ●生産各部会の生育・出荷・総会などの動き
- ●JA阿蘇の農産物、HIヒロセで販売
- ■JA阿蘇職員「二次募集! |
- ●「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント!etc. 今号も話題と情報を満載!!

JA阿蘇の ホームページに アクセスできます!



• / 阿蘇農業協同組合

〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5 TEL 0967-22-6111/FAX 0967-23-1088

今年産コシヒカリ96001の出荷をめざす!

令和3年産米初検査 全量が1等米

令和3年産米初検査・阿蘇コシヒカリ出発式

安全・安心」





和3年産米初検査、 約8人が出席して、安全祈願祭・令 き取って検査が行われました。 507袋約15tの阿蘇コシヒカリ シヒカリ出発式」を行いました。 (特別栽培米) から、サンプルを抜 当日の初検査では、持ち込まれた および 「阿蘇コ

スタートを切りました。 等米であり、令和3年産米は順調な 具合などを検査した結果、全量が1 新米の形や色ツヤ、水分量や粒の張 検査員の橋本雅貴JA阿蘇職員が

生産者代表の中西洋介稲作部会長

リの新米120㎏が贈られました。 阿蘇市母子寡婦福祉連合会へコシヒカ ているひとり親家庭を支援しようと、 OOtの出荷を目指しています。 食べて欲しい」と抱負を語りました。 が心配されたが、無事に1等米という で、生活費などへの負担が大きくなっ 九州一円や関西などに出荷されます。 クが関係者に見送られ、県内卸業者の は挨拶で「8月中旬からの長雨で品質 元へと向かい、その後、県内をはじめ ことで安心している。食卓でたくさん 原山寅雄組合長は「コロナ禍であ また、新型コロナウイルス感染拡大 JA阿蘇は今年産コシヒカリ96 出発式では、 新米を載せたトラッ

> となく、後世に引き継ぐことは大事 かり食べて、コロナに負けない体を な役割だ。阿蘇のコシヒカリをしっ っても、 阿蘇地域の営農を止めるこ

産者・JA職員・検査員など関係者

JA阿蘇は9月15日、

阿蘇市で生

話していました。 作って欲しい」と



に見送られ出発する新米積載のトラック 写真上=安全祈願祭の様子と令和3年産 係者によるテープカット/写真右=関係者 米初検査の様子/写真中=出発式での関

農業振興や地域の方々の交流の場となる《小さな拠点》 「JA阿蘇産山購買店舗」⇒「産山村アグリセンター」として新装オープン!



JA阿蘇産山購買店舗が「産山村アグリセンター」として8月2日新装オープンしました。同施設は産山村が村の基幹産業である農業振興や営農支援、新規就農者の支援等を行う目的で造りました。JA阿蘇も、農業振興に欠かせない拠点施設として、しっかりと担っていきます。

店内は以前の店舗と比べ、広く明るく、品揃えも増えました。利用者の目線で農業資材や農薬も見やすく配置されており、どの商品がどこにあるのか分かりやすいように陳列に工夫がされています。

9月にはATMも新設され、地元NPOによって野菜等

の無人販売所も設置される予定です。

産山村では人口減少と過疎化が進む中、住み慣れた地域でこれからも暮らしていけるように、住民の生活を支え、生きがいづくりや交流の場となる「小さな拠点」として、今後ともアグリセンターの整備を進めていく計画です。

店舗購買係の伊藤達男職員は「アグリセンターのコンセプトである農業振興、交流の場としてJA阿蘇が貢献できるよう頑張ります」と抱負を話していました。

JA阿蘇は、地域の方々の暮らしに無くてはならない JAとして、これからも地域の方々に寄り添っていきます。



店内は資材や農薬も 見やすく配置・陳列!

> 「分からない商品が あったらお気軽に お声かけ下さい」と、 スタッフの岩下さん







JA阿蘇、様々な活動を通して地域社会に貢献

JA阿蘇、日本赤十字社から

「献血功労団体」として表彰される



J A阿蘇は日本赤十字社から献 9 月 1 日 Ш

継続的に献血に協力した団体、 いは献血の推進活動に功労のあっ ある

た血液の多くは高齢者の医療に使わ 血者数は減少傾向にあり、 その85%以上が50歳以上 献血され

これからも、

少しでも医療に貢献で

きるように献血に協力していきた

感謝状を頂いた原山組合長

と話していました。

(写真上=

これまで献血活動を続けてきている。

ている方々のためになればと思って

原山組合長は「輸血が必要で困

け取りました。 本所で原山寅雄組合長が感謝状を受 功労団体として表彰され、 同表彰は日本赤十字社が5年以上

団体を表彰するものです。 現在、若年層 (10代~30代)の献

血活動を行ってきました

れており、 方々に使われています。 A阿蘇では何かお役に立てない 職員をはじめとし定期的に献

> 約100点を阿蘇市へ贈る 家庭で余った食品や贈答品など 女性部が『フードドライブ』

発目標 どのほか生活困窮者へ配布されます。 3 日 繋がっています。 それらを必要とする人々にフードバ などを持ち寄ったり提供してもらい 余った食品や好みに合わない贈答品 や児童養護施設、障害者支援施設な になる食品の有効な利用となります。 れなかったりして捨ててしまうこと ンク等を通じて寄付する活動です。 など約100点を阿蘇市へ贈りました。 の活動に取り組み、 この取り組みは、私たちが食べき また、同活動は持続可能な17 寄付された食品などは子ども食堂 フードドライブとは、各家庭から JA阿蘇女性部阿蘇町支部は9月 「フードドライブ」に共感し、 (SDGs) 提供を受けた食品 の取り組みにも の開 そ

『フードドライブ』に取り組んで JA阿蘇女性部阿蘇町支部 西村富美枝

コロナ禍の中、「部員全員で取り組むことができることは、何かないものだろうか」と思っていた中 での阿蘇市からのお話でした。女性部でも前からフードロス活動で宴会時の3010運動をしており。 部員全員でSDGs 活動につなげていけるものだと思いました。 部員の協力でたくさんの物品が集まり、 女性部の結束はまだまだ強いと感じました。集まった物品を市へ持参した折、この活動を継続した活 てほしいと要望しました。女性部活動がこのフードドライブ活動を通し市政とつながり、 人に認知していただき、このことが活発な活動や部員の増加につながっていくことを願っています。



動がこのフードドライブ活動を通し、 束の強さを改めて感じた。女性部活 くさんの物品が集まり、女性部の結 村富美枝支部長は「部員の協力でた 行政と繋がり、 フードドライブ活動に賛同した西 活発な活動や部員増加に繋が 広く多くの人に認知

され、

部阿蘇町支部の皆さん) 継続されていくようにさらに取り組 きなれないこの活動が、これからも みを続けていきたい」と話していま っていくことを願っている。 た。

(写真上=阿蘇市へ寄付した女性 まだ聞

J A 阿蘇女性部料理コンテスト 最優秀賞に内田久子さん(西原支部)

西原特産シルクスイートをふんだんに使った 「バスク風チーズケーキ」

JA阿蘇女性部は9月10日、JA阿蘇本所で「令和3年度女性部料理コンテスト」を開きました。今回のテーマは発酵食品を使った料理です。

コンテストは地元の農作物を使用し、調理法や食べ方を伝える事、そして地産地消運動の促進と新型コロナウイルス感染症に負けない体質づくりを図ろうと、料理品評会を実施しました。今回で5回目の開催となるコンテストには、管内の女性部会員から選ばれた昨年より7品も多い15品の料理が出品されました。

審査は各支部長や常勤役員ら17名が担当し、料理の色合い・味・工夫などを考慮して行われました。審査員らは趣向を凝らし創意工夫あふれる品々に頭を悩ませながら審査にあたっていました。



審査の結果、最優秀賞には西原支部の内田久子さんが発案した「バスク風チーズケーキ」(写真上)が選ばれました。バスク風~ケーキは、黒い焼き目が再現され味も濃厚でしっとりした舌ざわりと、ケーキの土台に西原特産シルクスイートをふんだんに敷き詰めた工夫が、各審査員から好評を得ました。原山組合長も「毎年楽しみにしているイベントの一つであり、美味しい料理にいつもワクワクさせられる。ひとつひとつ味わいながら頂きます」と、笑顔で感想を話していました。



「二色たかな万十」など地元

コンテスト開会式の様子



趣向を凝らし創意工夫あふれる数々の メニュー審査に、頭を悩ます女性部の皆さん







「どのメニューも優劣が付けがたいですな…」と、 審査にあたる役職員の皆さん

生産各部会の生育・出荷・総会などの動き①

出荷は11月までの長期間 夏秋トマト出荷最盛期迎 中部トマト部会= える

迎えています。 旬 に入っています。 まれており、 産農家から約70 t (1ケース=4 出荷量は県内でも最多を誇り、 は5月下旬から収穫が始まりました。 から、 中部野菜センターには連日、各生 A 阿 1万8000ケースが持ち込 蘇中 夏秋トマトの出荷最盛期を 選果選別作業が最盛期 部トマト部会は7月 同管内の夏秋トマト

生育と食味が良好です。 安定推移し、夜温が低かったことで 今まさにトマトの出荷ピークが 本年度は生育期の気候が例年より 到

なる見込みです。 来した状況で、 過去最大の出荷

組みが進んでいます。 農者や後継者が増加傾向で、 して注目されるなど好感度も上 中部トマト部会は、近年 収量・所得の増加を目指す 生産農家·行政 . J Ă が Ó 産 新 取り 連 地 昇 携 中

地指導に力を入れる。 後も安定出荷に向けて、 万全を期して夏場の出荷に備 担当指導員の宮﨑大智職員は と話していました。 台風対策にも 積極的に現 しっ えた 生

安心安全なトマトを届けたいとして 産農家は暑い天候と環境の います。 かりと管理を行い、 出荷は11月までの長期間続き、 消費地へ向 けて



写真上=出荷最盛期を迎えた選果場/写真下=連日、 大量に持ち込まれているトマト (7月7日撮影)

西田満士さん、

で称えられました。

いちご部会総会にあたり益々の発展と 活躍を願って功労者6名の方々をJA表彰

表彰を受けたいちご部会6名の方々。後列左から佐藤哲治さん、 西田満士さん、志賀謙三さん、園田賢臣さん。 前列左から嶋野さん代理出席、大津裕樹さん(8月4日撮影)

表彰を行いました。 和2年産いちご部会の総会にあたり Ă 阿 .蘇は8月4日、 本所での令

り

ていきます。

与と賛辞が贈られました。 績を称え、 園田賢臣さん、 にいちご栽培並びに総販売金額の功 JA表彰部門では、 JA阿蘇から表彰状の授 佐藤哲治さんの3名 大津裕樹さん、

願い、 ますますの発展と、 今後もJA阿蘇産のいちご栽培の また、生産と所得アップに向 さらなる活躍を



いちご部会功労者表彰式の様子

けてJAと生産者が一丸となり、 層の連携を図る取り組みを続け ょ 品種割合はさがほのか21%・ゆうべに

生産各部会の生育・出荷・総会などの動き②

例年より1週早く定植 JA阿蘇いちご始動! 苗良好で順調に生育



の定植が9月1日から始まりました。 に花芽分化を確認できました。 導員の江藤秀晃職員の検鏡で、 の低下が心配されましたが、専任指 本年産は8月の長雨の影響で苗質 A阿蘇では2021年産いちご

事定植を迎えられた。今後は出荷に 管内いちご生産者数は42戸(前年比98 を語っています。本年度産のJA阿蘇 向け管理徹底に努めたい」と、抱負 を心配したが、例年並みの苗質で無 ました。園田さんは「日照不足で生育 積76aに約6万5000本を定植し 生育しています。 9月初め、園田賢臣さんは栽培面 面積11ha(同97%)の見込みで、

> 19%・恋みのり60%で、出荷数量は約 込んでいました。 病害虫でのロスを少なくするため、 なった。今後は定植後の活着や二番 苗・施肥管理で充実した苗の生育と 実不足が心配されたが、早期の採 適期の防除指導をしていく」と意気 できるよう重点的指導を行う。また になるため、まずは年内収量確保が 花分化までの肥培・温度管理が重要 190万パックを見込んでいます。 江藤職員は「長雨の影響で苗の充



写真上=花芽検鏡の様子(9月1日撮影

傾向の中、 影響もあり、

前年のコロナ禍では経験 全般的に野菜類が豊作

あり、1週間程度早い定植で順調に

気温が例年に比べ低かったことも

厳しい状況となりました。

販売単価の伸び悩みはコロナ禍の

を回復しましたが、各産地の出荷ピ の栽培管理の努力で早い段階で品質

ークが重なり、販売単価は例年より

見られたものの、

生産者一人ひとり

夏芽は、梅雨明け後に品質低下が

りました。

春芽は前年比115%の出荷量とな 分転流がスムーズだったこともあり、 し昨年の親株状態が良く、 べると少なめとなっています。

冬場の養

写真右=定植の様子(9月8日撮影)

しか

アスパラ結束作業の様子

で管理講習会ができないため、 病害虫防除を」と呼びかけ。 を考え、栽培管理の徹底と定期的な

コロナ禍 文面及

また、生産者には「次年度の春芽

りアップを狙っています。

びLINEを利用して定期的な情報送 信を行っていきたいとしています。 アスパラの「バラ詰め出荷」で



ヾラ詰め作業の様子

最後まで高品質出荷を心掛ける 「阿蘇アスパラ」出荷終盤戦

が発生し、数量は昨年の同時期と比 8月の長雨で例年になく斑点性病害 21年産アスパラが終盤戦へ突入し 日量3.1前後が出荷されています。 9月上旬、 一の宮選果場では20

新販路と最盛期の経費削減効果大

理能力を超える荷受量があり、 地に出荷しています。同選果場が2 約7301のアスパラガスを全国 労働の削減が大きな課題となりました。 ましたが、 ズンを通しての経費削減があります。 荷最盛期の時間外労働の削減とシー 売形態の一つが「バラ詰め出荷」です。 O21年産で重点的に取り組んだ販 昨年もバラ詰め出荷を少量行ってい バラ詰め出荷の背景には、春芽出 JA阿蘇一の宮選果場では、 春芽出荷最盛期に選果処 時間外 年 間 各

先ごとの得意とする販売形態の確認を 早めに市場担当者へつなぎ、出荷市場

の下げ止めの工夫を試みています。 やり取りするなど、早い段階で単価 戦しました。このため、

産地情報を

したことのないような販売環境に苦

※次ページに続く

料になった」と、来年の生産者手取

「コロナ禍の販売環境で学ぶことも

来年の販売や出荷先の判断材

指導販売担当の後藤真智職員は

※前ページより続く

このため昨年末から取引市場にバ

生産各部会の生育・出荷・総会などの動き③

営農センター管内の部会員21名と同

センター職員8名が参加して講習会

を開催しました。

講師には、

九州生

度も年間を通して計画的な出荷に取磨も年間を通して計画的な出荷に取らました。選別によっては、荷受量の35%程度果日によっては、荷受量の35%程度をバラ詰めにすることもあります。後藤真智職員は「バラ詰め出荷は後藤真智職員は「バラ詰め出荷は

倍の効率化がみられています。 経費削減の方法を模索中です。 一の宮選果場が取り組むバラ詰め は、選果機で選別された秀品のS~ は、選果機で選別された秀品のS~ は、選果機で選別された秀品のS~ がる方法で、通常の結束作業と比べ でも、同量を処理する速度より約1.5

「ほだ木コンクール」開催「成型駒」「棒駒」2部門で

小国郷生しいたけ部会

趣旨を述べました。

趣旨を述べました。

趣旨を述べました。

」、「人阿蘇小国郷酪農部会担当の河津剛士職員が「講習農部会が品質向上を目指して頑張った。」

「技術及び品質向上を目指して頑張った。」

講演が行われました。
世や基礎知識、安心安全な牛乳生産性や基礎知識、安心安全な牛乳生産



JA阿蘇小国郷生しいたけ部会は9月7日「ほだ木コンクール」を開催しました。コンクールには9戸の生産者が合計16本の原木を持ち寄り、産者が合計16本の原木を持ち寄り、

同コンクールは毎年行われていまりました。

ほだ木コンクールは、原木の菌糸所の森竹千代光所長を迎えました。

森竹所長は講評で「他の地域と同様、春先から梅雨の雨不足で種駒の移、春先から梅雨の雨不足で種駒のと、順調な伸張が見られる。今後もし、順調な伸張が見られる。今後もし、順調な伸張が見られる。今後もし、順調な伸張が見られる。

「成型駒の部」で最優秀賞を受賞した松野英一さんは「良いほだ木ができたので来年の発生が楽しみだ。できたので来年の賞が取れるように、適期に駒来年も賞が取れるように、適期に駒来年も賞が取れるように、適期に駒市の状態を語っていました。 指導担当の木下翔太職員は「今回、原木の状態を知ることができたので、

指導担当の木下翔太職員は「今回、 原木の状態を知ることができたので、 今後も栽培管理に気をつけて来年の 発生に役立ててもらいたい」と話し 発生に役立ててもらいたい」と話し



よろしくお願い致します

「JA阿蘇きらり」」

A JAJIYO

宝口



金融部貯金融資課融資専任渉外係(阿蘇南駐在)

子供たちに野球を教え、

一緒に楽しんでます!

内を飛び回っています。 日々です。 まだまだ分からない事もたくさんあり、 るよう、これからも頑張っていきたいと思いますので、 . 崎の3名で主に農業資金の訪問活動を行っています。 休日は子供たちの野球の試合や、 公私ともに充実した日々を送れ 陸上の大会などで県 毎日が勉強の

★趣味=学童野球で子供たちに野球を教えており

緒に楽しんでいます。

山田保育園の園児ら、JA阿蘇中部営農センターに七夕飾りをプレゼント!

阿蘇市山田保育園の年中·年長の園児ら17人が7月2日、JA阿蘇中部営農センターを訪れ、手作りの七夕飾り をプレゼントしました。このプレゼントはJAと地域の交流を目的として行われており、すでに15年間続いています。 中部営農センターを訪れた園児たちは、願いを込めた七夕飾りを笑顔で職員へ手渡しました。

短冊には「たくさんお友達ができますように」とか「健康に生活できますように」など、思い思いの願いが込められて いました。受け取った阿部センター長は「皆さんの願いが叶うように皆で応援します。野菜とご飯をたくさん食べて元 気な体を作って下さい」と、お礼の言葉を贈りました。

心を込めて作られた色鮮や かな七夕飾りは、センター内に 飾られ、訪れる組合員や地域 の方を楽しませていました。

山田保育園では、次回の野 外保育活動として勤労感謝の 日にメッセージカード付きの 鉢花をJAや郵便局へ贈る予 定です。



贈られた七夕飾りと園児・職員





栗・柚子・米を作り続けて35年… 表紙のご紹介 「戸田親男さん・ハルミさん夫妻」



戸田親男さん・ハルミさん夫妻は、西原村小野地区で栗・柚子・米を栽培し、営農歴は35年を超えるベテラン農家です。栗について親子2代で約35年続けており、長年の知識と経験を元に環境に合った農業経営をしています。

本年度の栗は、例年より早い8月中旬より収穫期を迎え、朝早くから管理・収穫作業にと追われる日々が続きました。戸田さんは「日頃の剪定と適度な消毒で品質を管理している。理想は栗が落ちた音が聞こえるように作れればベストだ」と意気込みを語っています。

栽培において独特な方法が、栗の木をあまり高くしないことで、2~3mほどで 生育させることです。また、十分な間隔を設けることで、上に伸びるための栄養を 栗の実に与えることが出来るそうです。

順風満帆に見える戸田さん夫妻ですが、5年前の熊本地震では栗の圃場に 断層が走り被害が出ました。しかし、たゆまぬ努力で、夫婦で力を合わせ、圃場を 再建し営農に尽力しています。

取材に応じて頂いたご夫妻は、本当に仲睦まじく「こんな夫婦になれれば」と思うほどでした。最初は「表紙に掲載されるなんて、恥ずかしい」と言いながらも、腕を組み、笑顔で写真を撮らせて頂きました。本当にありがとうございました。2021年度産の栗は、例年に比べ高単価を記録しており、美味しい栗になっているとのことです。秋の味覚の一つでもある栗を、皆さんぜひ味わってみてください。



● ● ● JA阿蘇職員異動のお知らせ ● ● ●

●辞令(令和3年8月1日)

氏 名	新 辞 令	旧 辞 令
本田 雅康	阿蘇南中央支所融資課長	阿蘇南中央支所共済課長
田代 勝	高森支所購買課長兼高森給油所長	阿蘇南中央支所融資課長
長野 淑美	阿蘇南中央支所共済課長	共済部普及課LAトレーナー
田上 伊織	営農部南部営農センター農産課主任兼	営農部南部営農センター農産課農産係兼
	地域農業再生協議会担当	地域農業再生協議会担当
松野 寛	営農部中部営農センター農産課主任兼地域	営農部中部営農センター農産課農産係兼地域
	農業再生協議会担当兼カントリー係	農業再生協議会担当兼カントリー係
岩下 美和	南部農機車輛センター係	高森支所購買課高森給油所係

●辞令(令和3年8月5日)

OFF IS A PROPERTY			
岩下	悟	高森支所購買課高森給油所長代理	営農部中部営農センター農産課農産係兼地域
			農業再生協議会担当
笠野	将志	阿蘇南中央支所購買課久木野給油所長	阿蘇南中央支所購買課久木野給油所長
			(久木野・白水・長陽給油所統括)

●中途採用辞令(令和3年10月1日)

太田泰知	小国郷中央支所購買課購買係	
------	---------------	--



よろしくお願いいたします!

小国郷中央支所購買課購買係

太田 泰知(小国町出身) 趣味=野球·読書

地域の組合員の方をはじめとするJAを利用する方々に、頼ってもらえる職員を目指して がんばりたいと思います。農業という職業に関わって日が浅く、至らぬ点があると思いますが、 日々精進していきたいです。よろしくお願いいたします。

「HIヒロセ青果売場」運営企業と連携

JA阿蘇管内で生産される農畜産物を「阿蘇世界農業遺産フェアー」に出品 青果物販促のため、今後とも関係企業と連携を進める



JA阿蘇は7月から「阿蘇世界農業遺産フェアー」と 題してHIヒロセ店舗内の青果売場を運営している (株)共栄フーズと連携して、JA阿蘇管内で生産された 11品目の野菜を週末のイベントとして出品しています。

これは阿蘇地域が国連の食糧農業機関により世界 農業遺産に認定されたことを、広くPRする目的で始めた ものです。出品された主な品目は、夏野菜定番のトマト・ ミニトマトに加え、高冷地栽培を活かしたチンゲン菜・ ほうれん草・原木栽培の生しいたけ・高森町特産ひごむ らさきなどバリエーション豊富な品揃えとなっています。 JA阿蘇では、平成25年に世界農業遺産に認定された阿蘇で生産される多くの農畜産物が、広く愛され、更には農業の活性化に繋がることを強く願い、これからも青果物の販売を通じた広報活動を、(株)カネイチや熊青西九州青果株の協力企業と連携し、季節ごとに品目を変えながら同フェアーを継続していく計画です。

営農部園芸課の河津勝職員は「このフェアーでJA阿蘇産の野菜を手に取って、食卓を彩ってもらえたら嬉しいです。今後も阿蘇産の農畜産物を自信をもってすすめていきます」と意気込みを話していました。



理事会・監事会報告

■令和3年度第7回理事会

日時 令和3年8月31日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

- 1. 開会
- 2. 組合長挨拶
- 3. 協議事項

委員会報告(経済専門委員会)

7月末実績報告について

- 1)貸出金について(利益相反)
- 2) 熊本県常例検査回答書(2回目案)について
- 3) LPガス料金改定(変動型)について(案)
- 4) 営農経済プログラム「葬祭事業の取扱シェアの拡大」について(案)

報告事項

- 1)JA上益城との比較について
- 2) 熊本県域JA構想に係る目標基準について
- 3) 令和3年度米麦等棚卸監事監査報告書について
- 4) 令和3年度上期決算棚卸監査要領について
- 5) 県域ローンセンター媒介業務実績(四半期実績報告)
- 6) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング」報告に ついて
- 7) 令和3年度余裕金運用状況(6月末)について
- 8) 令和3年度上半期決算棚卸休業日について
- 9)第57回農機自動車大展示会実績について
- 10) 自主検査結果報告について(6月)
- 4. 閉会

■令和3年度第8回理事会

日時 令和3年9月28日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

- 1. 開会
- 2. 組合長挨拶
- 3. 協議事項
 - 8月末実績報告について
 - 1)貸出金について
 - 2) 経理規程の改正について(案)
 - 3) 購買業務規程の改正について(案)
 - 4) 令和4年度JA阿蘇職員二次募集について(案)

報告事項

- 1)永久劣後特約付金銭消費貸借契約の変更について
- 2) JA事業運営モデルの更新について
- 3)2021JA阿蘇総合展示会実施要領について
- 4) 第2回JA阿蘇アグリイノベーションフェアーについて
- 5) LPガス料金について
- 6) 自主検査結果報告について(7月)
- 7)「熊本県域JA構想」の検討状況について
- 4. 閉会

●令和3年度第5回監事会

日時 令和3年8月19日(金)午後1時30分

場所 本所2階第一会議室

- 1. 開会
- 2. 挨拶
- 3.議題
 - 1)令和2年度決算監事監査回答書について
 - 2) 令和3年度米麦等棚卸監事監査報告書(案) について
 - 3) 令和3年度上期決算棚卸監査要領(案) について
 - 4) 令和3年度上期決算監事監査日程(案) について
 - 5) JAバンク基本方針に基づく農林中金が定める「体制整備基準」 にかかる体制整備モニタリング報告について……別紙

報告事項

- ①常勤監事業務報告について
- ②常勤会議等報告について
- ③令和3年度第1回熊本県JA常勤監事研究会の報告について
- ④熊本県常例検査回答書(2回目)
- ⑤行事予定について
- ⑥その他
- 4. 閉会

●令和3年度第6回監事会

日時 令和3年9月24日午後1時30分

場所 本所2階第一会議室

- 1. 開会
- 2.挨拶
- 3. 議題
 - 1) 令和3年度米麦等棚卸監査回答書(案) について
 - 2) 令和3年度上期決算棚卸監査実施要領について

報告事項

- ①常勤監事業務及び会議等報告について
- ②みのり監査法人「監査計画概要説明書」について
- ③令和3年度上期決算監事監査(補助者)について
- ④行事予定について
- ⑤その他
- 4. 閉会



JA阿蘇イラスト違い探し「お月見」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。探してみてください!

(出題:イラストレーター みやた みゆき)





イラスト違い探し「お月見」応募方法

「お月見」イラスト5か所の違いを、官製ハガキに書いて応募してください。正解者の中から抽選で6名様に「阿蘇コシヒカリ」(約5kg)をプレゼントします。(右写真はイメージ)応募締め切りは、令和3年11月15日(当日消印有効)です。当選者は次号のJAあそだよりで発表します。



前号「そうめん流し」答えとプレゼント当選者6名様



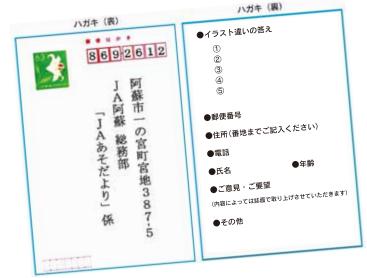


管 正子 様 (阿蘇市) 甲斐 藤子 様 (山都町) 山下 美香 様 (山都町) 河崎ヤスエ 様 (阿蘇市) 今村 小夜 様 (南阿蘇村) 西村美智子 様 (西原村)

=答え=

- ① 女の子の袖
- ② ホースのまがり
- ③ 男の子の服の模様
- ④ 風鈴の向き
- ⑤ おばあちゃんの髪飾り





令和 4 年度 高卒 (新規学校卒業) J A 阿蘇職員二次募集要領

- 1. 採用職種及び採用予定者数 一般事務職……10名程度 農業関係技術職……5名程度
- 2. 受験資格 令和4年3月 (来春) までに卒業見込みの者。
- 3. 受験手続 ①提出書類 統一応募書類 (全国高等学校統一用紙 その1、その2)
 - ②募集締切日……令和3年11月17日(水)必着
 - ③応募書類提出及び問い合わせ先

【住 所】 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387番地5

【連絡先】 阿蘇農業協同組合 総務部総務人事課(電話) 0967-22-6111

【担 当】 下田・西村

④応募方法 ア. 原則として郵送に限る。但し、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に 電話予約が必要。尚、受付終了後「受験票」を郵送します。

イ. 学校を通じ申し込むものとする。

- 4. 試験の日時・場所及び内容
 - 【日 時】 令和3年11月25日 (木) 午前9時15分から午後2時15分予定 (受付:午前8時30分~9時00分)
 - 【場 所】 阿蘇農業協同組合 一の宮中央支所
 - 【内 容】 基礎能力検査 (言語・数理・論理・常識・英語) マーク式 適性検査 及び小論文 面接試験
- 5. 採用後の待遇 ①採用時期 令和4年4月1日 (3ヶ月は試用期間として勤務後、職員となります)
 - ②給 与 高卒基本給…146,880円~
 - ③賞 与 年2回支給
 - ④昇 給 年1回
- 6. その他 受験票、筆記用具(鉛筆等)を持参して下さい。また受験の為の費用は支給しません。

令和4年度 高卒(既卒)・専門学校・短大卒・大卒 JA阿蘇職員二次募集要領

- 1. 採用職種及び採用予定者数 一般事務職……10名程度 農業関係技術職……5名程度
- 2. 受験資格 昭和56年4月2日以降出生の者で令和4年3月 (来春) までに卒業 (見込み) の者。
- 3. **受験手続** ①提出書類 ア. 履歴書 (JIS規格) ·········· 1 通 (写真付)
 - イ. 写真 (3×4cm) ············· 1 枚 (履歴書に貼付した写真と同じものとし、裏面に学校名・住所・氏名を記入)
 - ウ. 学校成績証明書
 - エ. 卒業証明書又は卒業見込証明書
 - ②募集締切日 …… 令和3年11月17日 (水) 必着
 - ③応募書類提出及び問い合わせ先

【住 所】 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387番地5

【連絡先】 阿蘇農業協同組合 総務部総務人事課 (電話) 0967-22-6111

【担 当】 下田・西村

- ④応募方法 原則として郵送に限る。但し、持参や詳細事項の面談の場合は、事前に電話予約 が必要。尚、受付終了後「受験票」を郵送します。
- 4. 試験の日時・場所及び内容
 - 【日 時】 令和3年11月25日(木)午前9時15分から午後2時15分予定 (受付:午前8時30分~9時00分)

【場 所】 阿蘇農業協同組合 一の宮中央支所

【内 容】 基礎能力検査 (言語・数理・論理・常識・英語) マーク式 適性検査及び小論文 面接試験

- 5. 採用後の待遇 ①採用時期 令和4年4月1日 (3ヶ月は試用期間として勤務後、職員となります)
 - ②給 与 大学卒基本給………171,130円 ~ 短大·専門卒基本給…155,580円 ~ 高卒基本給……146,880円 ~
 - ③賞 与 年2回支給
 - ④昇 給 年1回
- 6. その他 受験票、筆記用具(鉛筆等)を持参して下さい。また受験の為の費用は支給しません。

14



ませんか?

日本農業新聞 1ヵ月購読料 2,623 円

知る、活かす、つなぐ~JAグループ情報共有運動

国内唯一の日刊農業専門紙である 「日本農業新聞」は、農家経営や地域 農業振興に役立つ記事、農政・生活情 報やJAの取り組みなども満載!

熊本県内やJA阿蘇管内の情報も 掲載しています。

> お申し込みはお近くの JA阿蘇各支所に お気軽にどうぞ

熊本・JA阿蘇小国郷センター製造



完熟

JA阿蘇のニュースも紹介



工代化資金

事業実施期間

2021年7月1日(木)~12月31日(金)

対象となる方

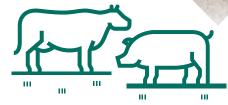
農業近代化資金をお借入れ、かつ熊本県農業信用基金協会を ご利用いただける方。(※2021年12月31日までにお借入された方が対象)



規模拡大による 新しいハウス建築に



作業負担軽減のための 最新設備導入に



増頭や飼養牛更新に伴う 乳牛等の購入・育成費用に

JAバンクでは農業者の皆さまのお借入負担を軽減するため、 農業近代化資金のお借入にかかる金利と保証料を助成いたします。

金利負担

JAバンクが 5年間利子補給します

※借入日より5年後以降は金利負担が発生します。

保証料負担

JAバンクが保証料を 全額負担します



基準金利

熊本県による 利子補給

農林水産長期金融協会に よる特例利子助成および JAバンク利子補給併用後

※利子補給・保証料助成総額には上限があります。予算に達し次第終了いたしますので、助成が受けられない場合があります。(2021年7月1日現在)

概要 品

認定農業者、認定新規就農者、一定の要件を満たす農業者(集落営 個 人・ 農組織を含む)、認定農業者となる計画を有する農業参入法人等

【資金使途】

- ①畜舎、果樹棚、農機具その他の農産物の生産、流通または加工に 農業参入法人 必要な施設の改良、造成、復旧または取得に必要な資金
- ②果樹、その他の永年性植物の植栽、育成に必要な資金
- ③家畜の購入、育成に必要な資金
- 4 農地の小規模な造成、改良、復旧に必要な資金
- ⑤農業経営の規模拡大、農業経営の改善に必要な長期運転資金

【貸付期間】

最大15年、うち据置期間最大7年(資金使途に応じて異なります。)

·· 1.800万円以内 2億円以内 法人、集落営農組織等 …… 1億5千万円以内

【返済方法】

毎年1月20日(休日の場合は翌営業日)の年1回払い 【担 保】原則不要

【保 証】原則として熊本県農業信用基金協会の保証を 必要とする

【保証料】JAバンクの保証料助成により0円

【JAバンク利子補給期間】5年間

【JAバンク利子補給率】最大 年1.0% (2021年7月1日現在)

JAバンク熊本の主な利子補給対象資金

資金名	補給率	補給期間(最長)	備考
農業近代化資金	年1.00%	5年	
21世紀農業 フォローアップ資金	年1.00%	3年	農業に関する様々な資金使途に対応可能 ※資金使途によっては対象外となる場合があります。
JA農機ハウスローン	年1.00%	3年	一定額までの農機具・ハウスに迅速に対応可能
農業経営改善促進資金 (スーパーS資金)	年1.00%	1年ごと	農業経営に関する運転資金 ※制度資金であり予算に限りがあります。
JA農業法人ローン	年1.00%	1年ごと	農業経営に関する運転資金

●JAバンク利子補給は当初借入額100万円以上が対象です。●お申込に際しては、JA所定の審査があり、その結果によってはご希望に添えない場合があります。また、担保等を求める場合もあります。●店頭にてご返済額の試算を承っております。 ●JAへの出資をお願いする場合がございます。●土日祝日については、一部営業していない店舗があります。●詳しくは、店頭・HPの説明書または、窓口にお問い合わせください。



■ JA熊本市 096-372-6948 ■ JAたまな 0968-72-5505 ■ JA鹿本 0968-41-5132 ■ JA菊池 0968-23-3506 ■ JA阿蘇 0967-22-6111 ■ JAかみましき 096-234-1157 ■ JA熊本うき 0964-34-3317

■ JAやつしろ 0965-35-6165 ■ JAあしきた 0966-82-2516 ■ JA<ま 0966-38-1101 ■ JA本渡五和 0969-23-2231 ■ JAあまくさ 0969-22-1102 ■ JAれいほく 0969-35-0600